

令和3年8月3日
記者発表

最優先すべき流域内の盛土箇所の抽出が完了

県では、7月3日に静岡県熱海市で発生した大規模な土石流災害を踏まえ、盛土の総点検を実施しています。

今般、土砂災害警戒区域（土石流）である5,505区域とその流域において、時期の異なる航空写真データを比較し、838箇所の盛土箇所を抽出しました。

今後は、これら抽出箇所のうち、現地地点検が必要な箇所を抽出し現地地点検を実施するとともに、土砂災害警戒区域（土石流）以外の区域における盛土箇所についても抽出作業を継続します（資料1参照）。

【今回の抽出箇所の概要】

1. 抽出結果

土砂災害警戒区域（土石流）とその流域内における838箇所の盛土箇所は、和歌山県砂防課のHPを参照ください。

(<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/080600/top.html>)

2. 抽出方法

時期の異なる航空写真データ（平成8年以前のデータで最も鮮明なもの）と令和2年のデータ）を比較することにより把握

（資料2参照）

○県民の皆様へのお願い

盛土箇所を漏れなく抽出するため、住民の皆様からの情報提供も引き続き受け付けています。

・連絡先

県土整備部河川・下水道局砂防課 073-441-3171（直通）

環境生活部廃棄物指導室 073-441-2681（直通）

農林水産部農林水産総務課 073-441-2863（直通）

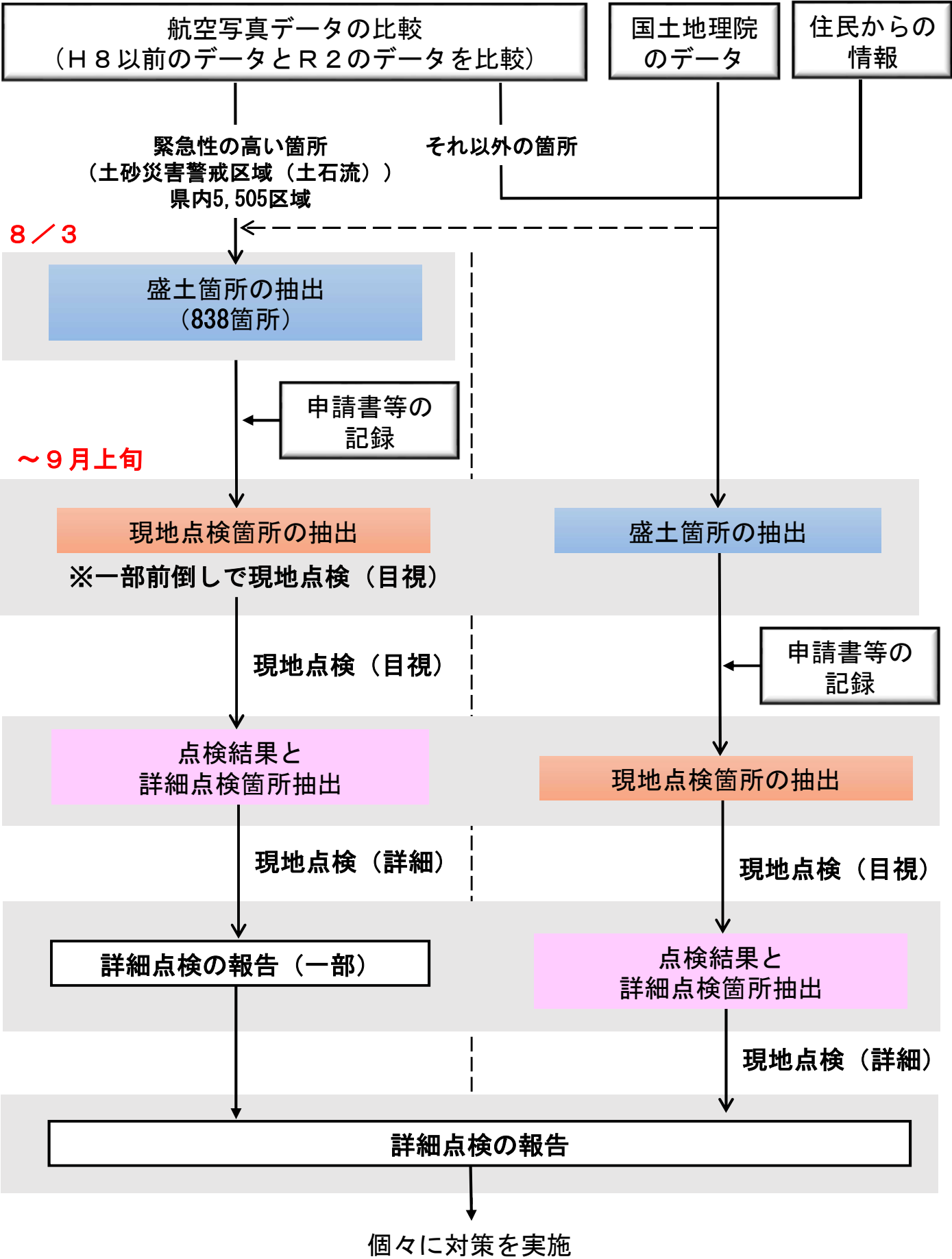
問い合わせ先 073-432-4111

県土整備部砂防課 森川（内線3170）

環境生活部廃棄物指導室 高垣（内線2681）

農林水産部農林水産総務課 田堀（内線2864）

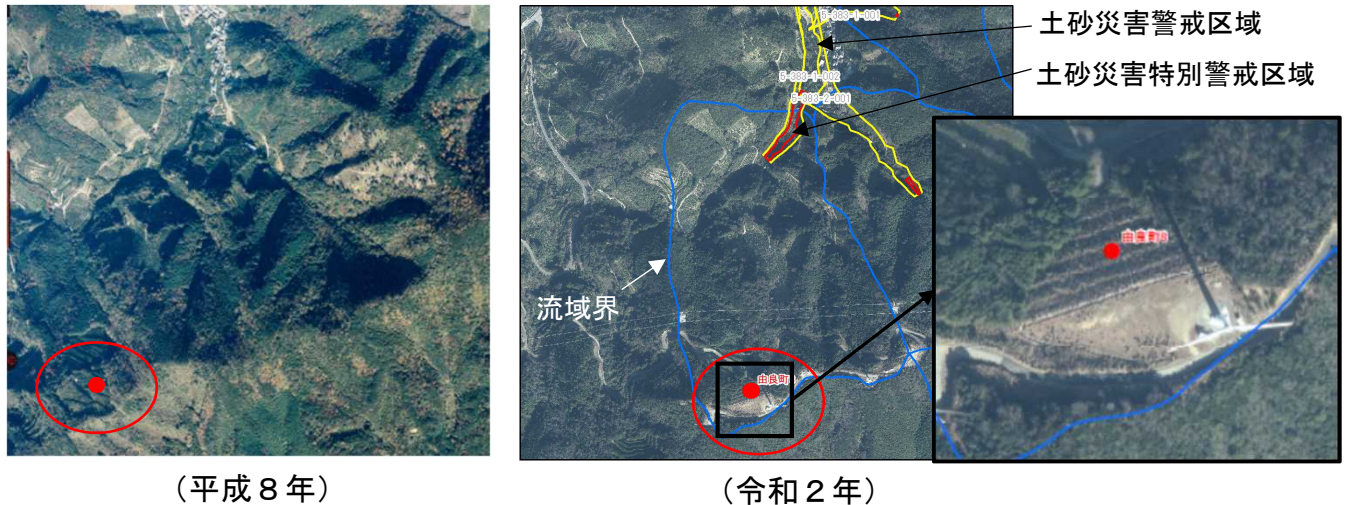
盛土総点検の進め方（予定）



盛土箇所の抽出について

時期の異なる航空写真データ

平成8年以前の航空写真データで最も鮮明なものと令和2年のデータを比較することで抽出

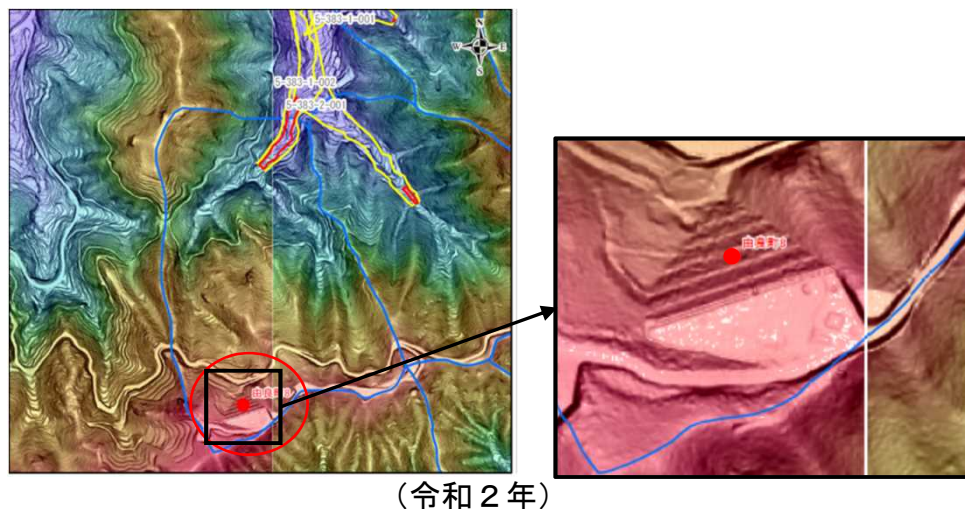


(平成8年)

(令和2年)

航空レーザ測量データを用いて作成した微地形表現図の活用

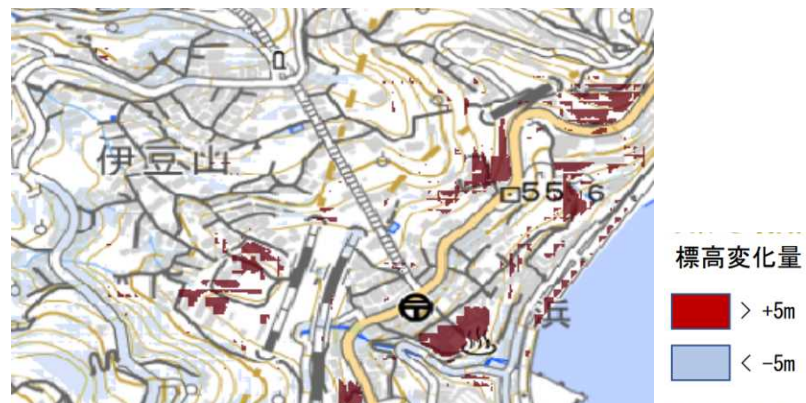
地形の勾配や谷筋などが明瞭になるようにデータ処理を施し地形改変を容易に把握



(令和2年)

国土地理院の基盤地図情報数値標高モデルの活用 (現時点では未活用)

国土交通省から提供される予定の、一定以上の標高に変化のある箇所のデータを活用し、盛土箇所の抽出漏れを防ぎます



基盤地図情報数値標高モデル(10m)と航空レーザ測量データ(静岡県; 2019年)の標高差分データから地形変化可能性箇所(±5m以上)を抽出(背景; 地理院地図) 出典: 国交省HP